



2024年が始まりました。今年の干支は甲辰(きのえたつ)だそうです。甲辰は「春の暖かな日差しが大地の全てのものに平等に降り注ぎ、あまねく成長を助ける年」と言われ、人によってはこれまでの努力が認められ、さらなる成長を遂げる年になるかもしれない、とのことでした。癸卯(みずのとう)の時も似たようなことが書かれていたような気がします…。今年もどうぞよろしくお祈りします。

津田梅子、北里柴三郎、そして渋沢栄一 🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡🍡

2024年の話題のひとつに、新しいお札の発行があります。紙幣は偽札を防ぐため定期的にデザインを変えるのだそうです。前は2004年でしたから今回は20年目の刷新です。私(鈴木)がよく覚えているのは聖徳太子のお札ですが、樋口一葉が女性として初めて採用されたときは印象的でした。そして今度の3人です。私はどの方ともご縁があり、今年の紙幣刷新はさらに印象深い出来事になりそうです。

津田梅子は日本政府から派遣された『岩倉使節団』に最年少の6歳で加わって米国で教育を受け、1900年に津田英学塾(現津田塾大学)を開き、日本の女子高等教育に貢献しました。津田塾に進んだ私は、そこでの学びと出会いを経て言語聴覚士の仕事にたどり着きました。日本の言語聴覚士の最初の礎を築いた先達も、実は大先輩です。梅子は日本の働く女性の草分けであり、私たちに力強いロールモデルを示してくれていると感じます。



「近代医学の父」と言われる北里柴三郎が敬うべき先人であることを、北里大学に関わる誰もが否定しません。世界的な細菌学者であり、我が国の近代医学と衛生行政の発展に大きな貢献をしました。北里で過ごした何年もの間、ずっと変わらず、誇りをもって博士の名を周囲の人に伝えることができたのは幸いでした。今回の紙幣への肖像掲載は、その業績と人としての奥行の深さに、改めて思いを致す機会となりました。

さてもう一人が「日本資本主義の父」渋沢栄一です。埼玉県浦和で生まれ育った私は、幼い頃、郷土の偉人としてその名を祖父から聞いたことを覚えています。江戸から明治、大正と続く日本の大変革期、徳川慶喜に仕えたチョンマゲ時代を経てパリ万博に参加し、今に続く銀行や企業の創設に関わり、社会事業家としても活躍した渋沢の、時代の先を見通す鋭い感覚と、何事にも意欲的に取り組む姿勢に圧倒されます。



これから先の20年を見通すと、キャッシュレス化が急速に進み、紙幣の出番はだいぶ少なくなるでしょう。でも、現金に親しんだ昭和世代の購買意欲はまだ健在です。お財布を出入りする三人のお顔を拝見して元気をいただきながら、ささやかな買いものを、変わらず楽しみ続けたいと思います。

クリスマス→お正月



昨年のゴールデンウィーク明けのコロナ感染症5類移行後、これまで中止やオンラインでの開催だったイベントや研修が徐々に復活してきました。そのうちのひとつ、12月23日(土)に北里大学病院で行われたクリスマス・キャロルに参加しました。2019年から4年ぶりの開催です。北里大学・大学病院の教職員や合唱部OB、有志で構成される合唱団が9病棟を周り、最後に大学病院1階の「けやきサロン」という広いスペースで歌いました。当日までに9回、声楽家の先生に発声法や合唱曲の歌い方、モーツァルトの歌い方など様々なことを教えていただく練習日がありました。私は3回しか参加できませんでしたが…。普段、子どもたちと「舌の位置」や「口唇の開閉」などを意識しながら発音練習をしています。合唱ではそれらとは異なる舌や口唇の使い方をしました。口腔内の容積の違いも柔らかな響きに繋がるのかな、と興味深く感じました。

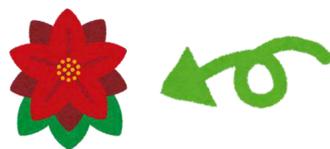


さて、クリスマスから1週間、あっという間に新年を迎えました。オギジビの院内装飾は1週間程度の期間限定、お正月バージョンです。今年もカミキキさんの動画を見ながら、干支である辰を折りました。正面から見た辰と横から見た辰の2種類を作りました。横から見た辰には、どんな願いもかなえるといわれる宝珠を持たせました。左の写真は金と銀ですが、院内には様々な色、様々な表情の辰がたくさんいます

ので、期間中に受診された方はじっくりご覧ください。



ところで、12月号で「1枚だけやや赤い葉が生えた」という続報をお伝えしたポインセチアですが、短日処理を終了してしばらくしてから、次々と真っ赤な葉っぱが生えてきました。目に見えないところで、赤くなる準備が着々と整えられていたのですね。成長と進展が期待される「甲辰」の年に通じるところがあると思いました。



しかし、このような形には葉っぱがつかないのです。

てんくうポケモン・レックウザ



兎年の2023年にウサギっぽい「ウインドウォート」を作ってくれたRくんが、今年も干支に因んだプラモデルを作ってきてくれました。「レックウザ色違い」です。

レックウザはドラゴン/ひこうタイプの伝説のポケモンです。雲より遥か上のオゾン層に生息しているため、地上から姿を見ることはできないそうです。写真のレックウザも雲の上ののっています！攻撃力が非常に高いポケモンで、通常は緑色なので黒色はレアタイプになります。

ポイントは2セット分を合体させて作っているため、本来のレックウザよりも体が長いこと。よりドラゴンっぽさが増していますね。そして体の模様をゴールドで塗っているところ。通常の黄色よりお目出度い感じがします。Rくんのオリジナル作品となっています。

2024年、ST室1の窓辺にはレックウザが鎮座します。



ウインドウォート

